

## 第4章 世帯と住居

### 1 世帯数及び世帯規模

#### (1) 本県の世帯数と世帯規模

一般世帯の1世帯当たり人員は2.57人、平成7年に比べ0.15人低下

一般世帯の世帯数は1,906,862世帯、世帯人員は4,899,523人で、1世帯当たり人員は2.57人となっている。

平成7年と比べると、世帯数は132,679世帯(7.5%)増加したのに対し、世帯人員は73,932人(1.5%)の増加と、世帯数の増加率は世帯人員の増加率の5倍となっており、この結果、1世帯当たり人員は平成7年の2.72人から0.15人減少した。

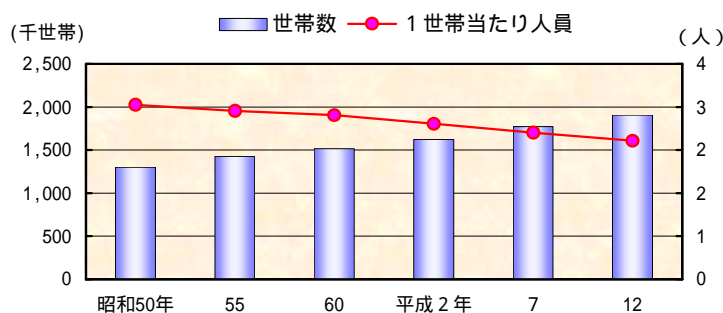
なお、施設等の世帯数は3,087世帯、世帯人員は106,587人で、平成7年に比べ、世帯数は471世帯(18.0%)、世帯人員は5,963人(5.9%)増加している。

表31 世帯の種類別世帯数及び世帯人員の推移  
(昭和50年～平成12年)

年次 1)	世帯総数	一般世帯						施設等の世帯		
		世帯数 (世帯)	増加数 (世帯)	増加率 (%)	世帯人員 (人)	増加数 (人)	増加率 (%)	1世帯当 たり人員 (人)	世帯数 (世帯)	世帯人員 (人)
昭和50年	1,301,810	1,298,837	152,072	13.3	4,213,890	251,168	6.3	3.24	2,973	76,786
55	1,432,382	1,425,791	126,954	9.8	4,468,033	254,143	6.0	3.13	3,396	81,293
60	1,522,528	1,518,580	92,789	6.5	4,628,340	160,307	3.6	3.05	2,773	89,369
平成2年	1,639,213	1,623,805	105,225	6.9	4,698,261	69,921	1.5	2.89	2,947	97,911
7	1,782,911	1,774,183	150,378	9.3	4,825,591	127,330	2.7	2.72	2,616	100,624
12	1,917,721	1,906,862	132,679	7.5	4,899,523	73,932	1.5	2.57	3,087	106,587

注1) 世帯総数には、世帯の種類「不詳」を含む。

図11 一般世帯数及び1世帯当たり人員の推移  
(昭和50年～平成12年)



1人世帯が一般世帯の3割を超える

一般世帯を世帯人員別にみると、1人世帯が576,717世帯(一般世帯の30.2%)で最も多く、以下、2人世帯が478,630世帯(同25.1%)、3人世帯が345,328世帯(同18.1%)と続いている。

平成7年と比べると、3人以下の世帯はすべて増加しており、1人世帯が17.7%、2人世帯が14.6%、3人世帯が7.9%の増加となっている。

表32 世帯人員別一般世帯数、割合及び増減率の推移  
(平成2年～12年)

世帯人員	一般世帯数 (世帯)			世帯人員別割合 (%)			増減率 (%)	
	平成2年	平成7年	平成12年	平成2年	平成7年	平成12年	平成2年 ～7年	平成7年 ～12年
総数	1,623,805	1,774,183	1,906,862	100.0	100.0	100.0	9.3	7.5
1人	393,846	490,053	576,717	24.3	27.6	30.2	24.4	17.7
2人	355,506	417,544	478,630	21.9	23.5	25.1	17.5	14.6
3人	292,510	319,928	345,328	18.0	18.0	18.1	9.4	7.9
4人	336,833	320,658	308,072	20.7	18.1	16.2	4.8	3.9
5人	147,458	137,996	124,572	9.1	7.8	6.5	6.4	9.7
6人	62,989	57,014	48,216	3.9	3.2	2.5	9.5	15.4
7人	26,535	23,918	19,311	1.6	1.3	1.0	9.9	19.3
8人	6,378	5,649	4,734	0.4	0.3	0.2	11.4	16.2
9人	1,261	1,061	938	0.1	0.1	0.0	15.9	11.6
10人以上	489	362	344	0.0	0.0	0.0	26.0	5.0

(2) 市町村の世帯数と世帯規模

一般世帯数は78市町村で増加

一般世帯を市町村別にみると、福岡市が594,861世帯(一般世帯の31.2%)で最も多く、以下、北九州市が406,414世帯(同21.3%)、久留米市が88,164世帯(同4.6%)、大牟田市が50,781世帯(同2.7%)、春日市が38,740世帯(同2.0%)と続き、最も少ないのは小石原村の352世帯(同0.0%)となっている。

平成7年～12年の増加率をみると、新宮町が21.9%で最も高く、以下、粕屋町が20.3%、筑紫野市が19.7%、篠栗町が18.0%、前原市が16.6%と続いており、これら5市町が15%以上の増加率となっている。また、これらを含む31市町で県平均を上回っている。

一方、減少率が最も高かったのは犀川町の3.5%で、以下、宝珠山村が2.9%、矢部村が2.9%、星野村が2.8%、添田町が2.7%と続いている。

表33 市町村別一般世帯数  
(平成12年)

(多い市町村)

(少ない市町村)

順位	市町村	世帯数 (世帯)	割合 (%)	順位	市町村	世帯数 (世帯)	割合 (%)
1	福岡市	594,861	31.2	1	小石原村	352	0.0
2	北九州市	406,414	21.3	2	大島村	374	0.0
3	久留米市	88,164	4.6	3	宝珠山村	501	0.0
4	大牟田市	50,781	2.7	4	矢部村	604	0.0
5	春日市	38,740	2.0	5	星野村	1,123	0.1
6	大野城市	33,233	1.7	6	赤村	1,163	0.1
7	筑紫野市	32,419	1.7	7	上陽町	1,177	0.1
8	飯塚市	31,206	1.6	8	新吉富村	1,360	0.1
9	宗像市	28,792	1.5	8	大平村	1,360	0.1
10	行橋市	24,652	1.3	10	山川町	1,601	0.1

表34 市町村別一般世帯の増加率  
(平成7年・12年)

(高い市町村)				(低い市町村)			
順位	市町村	増加率 (%)		順位	市町村	増加率 (%)	
		平成12年	平成7年			平成12年	平成7年
1	新宮町	21.9	27.0	1	犀川町	3.5	1.5
2	粕屋町	20.3	12.9	2	宝珠山村	2.9	3.6
3	筑紫野市	19.7	20.4	3	矢部村	2.9	3.6
4	篠栗町	18.0	21.8	4	星野村	2.8	3.2
5	前原市	16.6	22.9	5	添田町	2.7	2.4
6	那珂川町	13.6	24.0	6	山田市	2.4	0.4
7	大野城市	13.3	17.3	7	小竹町	2.1	0.0
8	玄海町	13.3	6.5	8	黒木町	1.5	2.6
9	小郡市	13.2	16.6	9	瀬田町	1.3	2.8
10	古賀市	12.7	17.8	10	方城町	1.1	5.1

一般世帯の1世帯当たり人員が最も多いのは朝倉町の3.92人

一般世帯の1世帯当たり人員を市町村別にみると、朝倉町が3.92人で最も多く、以下、立花町が3.68人、大和町が3.64人、田主丸町が3.63人、志摩町が3.62人と続き、これらを含む88市町村で県平均(2.57人)を上回っている。一方、最も少ないのは福岡市の2.21人で、以下、大島村が2.43人、北九州市が2.44人、田川市が2.48人、山田市が2.49人と続いている。

表35 市町村別一般世帯の1世帯当たり人員  
(平成7年・12年)

(多い市町村)				(少ない市町村)			
順位	市町村	1世帯当たり人員 (人)		順位	市町村	1世帯当たり人員 (人)	
		平成12年	平成7年			平成12年	平成7年
1	朝倉町	3.92	4.09	1	福岡市	2.21	2.33
2	立花町	3.68	3.92	2	大島村	2.43	2.58
3	大和町	3.64	3.90	3	北九州市	2.44	2.58
4	田主丸町	3.63	3.90	4	田川市	2.48	2.61
5	志摩町	3.62	3.84	5	山田市	2.49	2.64
6	黒木町	3.61	3.82	6	飯塚市	2.50	2.62
7	大木町	3.60	3.85	7	庄内町	2.51	2.56
8	城島町	3.59	3.78	8	苅田町	2.53	2.61
9	大刀洗町	3.59	3.83	9	川崎町	2.56	2.71
10	山川町	3.54	3.80	10	糸田町	2.58	2.71

## 2 世帯の家族類型

### (1) 本県の世帯の家族類型

単独世帯は一般世帯の30.2%、平成7年に比べ2.6ポイント上昇

一般世帯を家族類型別にみると、親族世帯（世帯主と親族関係にある世帯員のいる世帯）は1,321,939世帯（一般世帯の69.3%）、単独世帯（世帯人員が1人の世帯）は576,717世帯（同30.2%）、非親族世帯（世帯主と親族関係にある者がいない世帯）は8,206世帯（同0.4%）となっている。

親族世帯のうち、核家族世帯は1,103,324世帯（一般世帯の57.9%）、その他の親族世帯は218,615世帯（同11.5%）となっている。

平成7年と比べると、核家族世帯は57,494世帯（5.5%）、非親族世帯は3,028世帯（58.5%）、単独世帯は86,664世帯（17.7%）増加しており、その他の親族世帯は14,507世帯（6.2%）減少している。

平成7年の家族類型別割合と比べると、単独世帯は2.6ポイント上昇し、核家族世帯及びその他の親族世帯は、それぞれ1.0ポイント、1.6ポイント低下している。

夫婦のみの世帯は増加、夫婦と子供からなる世帯は減少

核家族世帯の内訳をみると、夫婦のみの世帯は346,517世帯（一般世帯の18.2%）、夫婦と子供からなる世帯は589,607世帯（同30.9%）、男親と子供からなる世帯は22,350世帯（同1.2%）、女親と子供からなる世帯は144,850世帯（同7.6%）となっている。

平成7年と比べると、夫婦のみの世帯は41,167世帯（13.5%）、男親と子供からなる世帯は2,686世帯（13.7%）、女親と子供からなる世帯は18,691世帯（14.8%）それぞれ増加しているが、夫婦と子供からなる世帯は5,050世帯（0.8%）減少している。

表36 世帯の家族類型別一般世帯数、割合及び増減  
（平成7年・12年）

世帯の家族類型	一般世帯数 (世帯)		家族類型別割合 (%)		平成7年～12 年の世帯増減	
	平成12年	平成7年	平成12年	平成7年	増減数 (世帯)	増減率 (%)
総数	1,906,862	1,774,183	100.0	100.0	132,679	7.5
親族世帯	1,321,939	1,278,952	69.3	72.1	42,987	3.4
核家族世帯	1,103,324	1,045,830	57.9	58.9	57,494	5.5
夫婦のみ	346,517	305,350	18.2	17.2	41,167	13.5
夫婦と子供	589,607	594,657	30.9	33.5	5,050	0.8
男親と子供	22,350	19,664	1.2	1.1	2,686	13.7
女親と子供	144,850	126,159	7.6	7.1	18,691	14.8
その他の親族世帯	218,615	233,122	11.5	13.1	14,507	6.2
夫婦と両親	5,801	5,883	0.3	0.3	82	1.4
夫婦とひとり親	23,279	21,766	1.2	1.2	1,513	7.0
夫婦、子供と両親	39,079	47,757	2.0	2.7	8,678	18.2
夫婦、子供とひとり親	73,472	83,244	3.9	4.7	9,772	11.7
夫婦と他の親族	5,666	5,478	0.3	0.3	188	3.4
夫婦、子供と他の親族	15,227	14,076	0.8	0.8	1,151	8.2
夫婦、親と他の親族	3,414	3,466	0.2	0.2	52	1.5
夫婦、子供、親と他の親族	13,780	16,358	0.7	0.9	2,578	15.8
兄弟姉妹のみ	14,499	12,677	0.8	0.7	1,822	14.4
他に分類されない親族世帯	24,398	22,417	1.3	1.3	1,981	8.8
非親族世帯	8,206	5,178	0.4	0.3	3,028	58.5
単独世帯	576,717	490,053	30.2	27.6	86,664	17.7

65歳以上の親族のいる一般世帯は一般世帯総数の31.1%を占める

65歳以上の親族のいる一般世帯数は592,999世帯（一般世帯総数の31.1%）で、平成7年に比べ87,857世帯（17.4%）増加している。

家族類型別割合をみると、核家族世帯は46.5%、その他の親族世帯は29.3%、非親族世帯は0.2%、単独世帯は24.1%となっており、平成7年に比べ核家族世帯は3.3ポイント、単独世帯は3.5ポイント上昇している。

表37 世帯の家族類型別65歳以上の親族のいる一般世帯数、割合及び増減  
（平成7年・12年）

世帯の家族類型	世帯数 (世帯)		割合 (%)		平成7年～12年 の世帯増減	
	平成12年	平成7年	平成12年	平成7年	増減数 (世帯)	増減率 (%)
総数	592,999	505,142	100.0	100.0	87,857	17.4
親族世帯	449,397	400,241	75.8	79.2	49,156	12.3
核家族世帯	275,562	217,994	46.5	43.2	57,568	26.4
夫婦のみの世帯	163,887	131,764	27.6	26.1	32,123	24.4
うち夫婦ともに65歳以上	117,128	87,183	19.8	17.3	29,945	34.3
夫婦と子供	57,866	43,805	9.8	8.7	14,061	32.1
ひとり親と子供	53,809	42,425	9.1	8.4	11,384	26.8
その他の親族世帯	173,835	182,247	29.3	36.1	8,412	4.6
非親族世帯	909	641	0.2	0.1	268	41.8
単独世帯	142,693	104,260	24.1	20.6	38,433	36.9

(2) 市町村の世帯の家族類型

核家族世帯の割合が最も高いのは福岡町の71.5%

市町村別に核家族世帯の割合をみると、福岡町の71.5%が最も高く、以下、那珂川町が71.4%、岡垣町が69.4%、宇美町が69.3%、遠賀町が69.2%と続いており、これらを含む63市町村で県平均（57.9%）を上回っている。一方、最も低いのは朝倉町の40.5%で、以下、宝珠山村が42.7%、小石原村が44.6%、上陽町が46.4%、杷木町が46.4%と続いている。

表38 市町村別核家族世帯の割合  
（平成7年・12年）

（高い市町村）

（低い市町村）

順位	市町村	割合 (%)		順位	市町村	割合 (%)	
		平成12年	平成7年			平成12年	平成7年
1	福岡町	71.5	72.2	1	朝倉町	40.5	39.4
2	那珂川町	71.4	72.8	2	宝珠山村	42.7	39.3
3	岡垣町	69.4	69.4	3	小石原村	44.6	44.1
4	宇美町	69.3	69.8	4	上陽町	46.4	48.4
5	遠賀町	69.2	69.9	5	杷木町	46.4	44.0
6	古賀市	68.9	68.0	6	黒木町	46.4	45.1
7	中間市	68.5	70.3	7	田主丸町	47.9	45.8
8	前原市	68.0	66.3	8	立花町	48.4	46.8
9	豊津町	67.9	68.2	9	浮羽町	48.5	45.4
10	行橋市	67.6	68.7	10	山川町	49.0	48.6

(3) 外国人のいる世帯の家族類型

外国人のみの世帯は外国人のいる世帯の6割以上を占める

外国人のいる世帯（17,277世帯）のうち、外国人のみの世帯は11,048世帯（外国人のいる世帯の63.9%）、外国人と日本人がいる世帯は6,229世帯（同36.1%）となっている。

外国人のみの世帯を家族類型別にみると、核家族世帯は4,385世帯（同25.4%）、その他の親族世帯は607世帯（同3.5%）、非親族世帯は33世帯（同0.2%）、単独世帯は6,023世帯（同34.9%）となっている。

外国人と日本人がいる世帯では、核家族世帯は5,073世帯（同29.4%）、その他の親族世帯は1,003世帯（同5.8%）、非親族世帯は153世帯（同0.9%）となっている。

表39 世帯の家族類型別外国人のいる一般世帯数、世帯人員、外国人人員及び外国人親族人員（平成12年）

	総数	外国人のみの世帯						外国人と日本人がいる世帯				
		総数	核家族世帯	夫婦のみの世帯	その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯	総数	核家族世帯	夫婦のみの世帯	その他の親族世帯	非親族世帯
世帯数（世帯）	17,277	11,048	4,385	1,064	607	33	6,023	6,229	5,073	1,619	1,003	153
世帯人員（人）	43,084	22,357	13,834	2,128	2,416	84	6,023	20,727	15,680	3,259	4,733	314
外国人人員（人）	29,600	22,357	13,834	2,128	2,416	84	6,023	7,243	5,645	1,626	1,437	161
外国人親族人員（人）	29,331	22,293	13,824	2,128	2,413	33	6,023	7,038	5,568	1,615	1,418	52